

## 支部長挨拶



平成 30 年度 東海支部長

鈴木 博（すずき ひろし）

平成 30 年 3 月の理工学部同窓会東海支部総会において、支部長を拝命致しました鈴木でございます。長い歴史のある東海支部の支部長拝命であり、身の引き締まる思いではありますが、誠心誠意東海支部の活性化、発展に努力してまいります所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、東海支部は、昭和 51 年に、「支部会員相互の親睦を厚くし、知識の交換を図る」、及び「慶應義塾の興隆に寄与する」事を目的に、愛知県、岐阜県、三重県に在住する同窓会員を対象に設立されました。近年では、勝野前支部長のご指導の下、静岡県西部同窓会（浜松市周辺）とも協調しながら支部活動を展開しております。

年に一度の支部総会では、理工学部の最新動向をお聞きすると共に、お越し頂いた先生や諸先輩よりその時々にあったご講演を拝聴するなど、塾との情報共有を図っております。その後の懇親会は、同窓会本部や先生方、会員同士で、現況や学生時代の思い出、最新の技術動向等について、楽しく且つ有意義な語り合いの場になっております。私自身この同窓会活動を通じ、塾出身の多くの方々の知己を得、相互の講演や技術交流会などに発展、企業としても有意義な活動になっております。その他、会員の関係する各事業場見学や、浜松支部と連携した家族連れの見学会や、関西支部と連携した福澤諭吉のゆかりの地を訪ねる旅行会、年に一度のゴルフ対抗戦なども行っております。

私は学生時代、機械工学科に所属し又剣道部に籍を置き 3 年間を過ごし、昭和 54 年に社会に出ました。その後数年して同窓会東海支部活動に参加をするようになり現在に至っております。参加当初は幹事も数人でしたが、中川元支部長、勝野前支部長のご尽力で参加される企業や年齢層も広がり、多くの方が支部活動に参加頂けるようになりました。私もお二人の敷かれたレールを踏まえ、更に東海支部の一層の発展に尽力してまいります所存です。

東海地区は“ものづくり”の地と言われていますが、“ものづくり”そのものが世界的に大きな変革の時期に差し掛かっているとも言われています。そして“ものづくり”の最近のキーワードは“CONNECTED”、即ち繋がる事です。東海支部は微力ではありますが、正にその“CONNECTED”の場を提供したいと考えております。会員の皆様には、この場を楽しく有意義に捉えて頂き、大きな変革を乗り越え、又牽引して行って頂ければ望外の喜びです。一人でも多くの方の参加をお待ちしております。